

- 溶接品質の安定化
- 環境に配慮
- 生産性の向上
- 経済性 に優れた溶接工法

PANDROL

TcT

PANDROL社製 テルミット溶接法 ～ PLJ(QPCJ)法 ～



公益財団法人鉄道総合技術研究所よりPLJ法は「他のテルミット溶接法と同等の性能を有し、実用に供し得る溶接法」として認定され、さらに基準以上の曲げ疲労強度を有していると判断されました。

テルミット溶接法の供給が二社体制となれば、競争が生まれ、技術、品質、コスト等の多方面での進歩が期待できます。

【 特 徴 】

1. 使い捨てルツボ

- ・乾燥工程が不要 (ガス消費量が少ない。) →生産性の向上。環境に配慮。
- ・オートタップが装着済 →生産性の向上 (管理体制が簡素化)
- ・ルツボ内部の品質の安定 (不純物の混入回避) →品質の安定化



2. 三分割タイプのモールド

- ・レール段差の許容差が大きい (約5mm) →生産性向上
- ・モールドケースが50N、60Kレール共用 →生産性向上 (機材・資材の準備忘れの回避)
- ・取り付け確認が容易。センターずれ回避。→品質の安定化 密着良好。
(二分割モールドは、設置位置確認が難しい。)



3. 粘土状ペースト

- ・水分調整が不要 →品質の安定化
- ・湯漏れの可能性が低減 →品質の安定化



バケツペースト



チューブペースト
(クレイセメント)



【 特 徴 】

4. 予熱の酸素流量管理

- ・予熱温度が安定 →生産性の向上。

(ガス消費量が少ない。) 環境に配慮。

日本で多用されているテルミット

溶接に比べて 約20% 減

参考：酸素ボンベ1本当たり 6口施工
(6,000L) (他社：4口施工)

注．切断等は含まず、予熱のみ



5. 機材が少ない。

- ・繰返し使用ルツボを使用する場合に対し

重量比 約40% 減 →生産性の向上。



PANDROL

TcT

製 造 : PANDROL SAS (仏)

輸 入 : 株式会社 ティー・シー・ティー

販売代理店



白山商事株式会社

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-10-13

TEL: 03-5958-9411 FAX: 03-5958-9415

URL: <http://www.hakusanshoji.co.jp/>